

會津八一誕生140年／
裏千家淡交会新潟支部創立70周年

記念特別展

會津八一と

茶の湯の世界

2021. 10. 2 (土) ▶ 12. 12 (日)

会場／新潟市會津八一記念館 (新潟日報メディアシップ5F)

10:00～18:00 (17:30まで受付) 休館日／月曜日(祝日の場合は翌日)

【観覧料】 前売り500円(一般のみ)、一般600円、大学生300円、高校生200円、小中学生100円
※団体20名様以上2割引、土日祝日は小・中学生無料

- 【主催】 新潟日報社、BSN新潟放送、新潟市、公益財団法人會津八一記念館
【特別協力】 一般社団法人茶道裏千家淡交会、茶道資料館、一般社団法人茶道裏千家淡交会新潟支部、一般財団法人北方文化博物館
【協力】 浅川園、今成漬物店、大阪屋、里仙、高橋酒造
【後援】 読売新聞新潟支局、毎日新聞新潟支局、朝日新聞新潟総局、産経新聞新潟支局、日本経済新聞社新潟支局、共同通信社新潟支局、時事通信社新潟支局、NHK新潟放送局、NST新潟総合テレビ、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、胎内市
【プレイガイド】 文信堂書店、セブン-イレブン(セブンチケット)、會津八一記念館、インフォメーションセンターえん(新潟日報メディアシップ1F) [10月1日まで販売]
※NIC新潟日報販売店でもお取り寄せできます。

《高田・濱谷邸にて》濱谷浩撮影
©片野恵介

※期間中、一部展示替えがあります。

伝狩野探幽筆
《寒雲亭襖絵》
(茶道資料館所蔵)
10月2日～11月7日

11代千宗室(玄々齋)筆
《寒雲亭襖絵》写し
(茶道資料館所蔵)
11月9日～12月12日



AIZU YAICHI
MEMORIAL MUSEUM

新潟市會津八一記念館
TEL.025-282-7612 (10:00～18:00)

〒950-0088 新潟市中央区万代3-1-1
新潟日報メディアシップ5F
<https://aizuyaichi.or.jp>



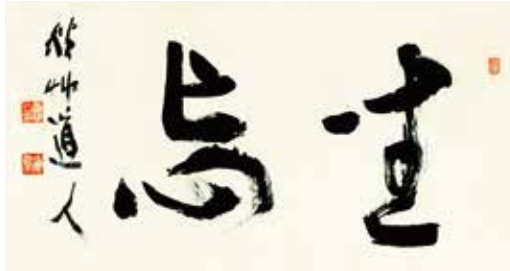
茶道の世界では、主人と賓客がお互いの心を和らげて慎み敬い、茶室の備品や茶会の雰囲気や清浄にする「和敬清寂」という精神性を大切にしてきました。

この「和敬清寂」の語句をたびたび揮毫した會津八一は、独酌あるいは風雅な客との対酌の後、かならず抹茶を喫する習慣がありました。早稲田大学時代の門下生によると、酒を飲んだ後に、養女のきい子が点てたお茶をおいしそうに味つていたといいます。しかも、その様子は大らかで、堂奥に入ったものだったそうです。

八一はお茶を点てて来客をふるまうことはしませんでした。茶の湯との関わりが少なからずありました。

晩年は、新潟市にある北方文化博物館分館に住み、分館の茶室開きのお祝いに「坐忘」の書を贈呈し、またその茶室を「坐忘」と命名しました。さらには茶碗の鑑定を行ったり、川喜田半泥子や齋藤三郎ら陶芸家との交わりもありました。

1951(昭)



〒950-0088 新潟市中央区万代3-1-1
 新潟日報メディアシップ5F
 TEL.025-282-7612/FAX.025-282-7614
 Mail : info@aizuyaichi.or.jp

